

平成30年度 学校評価アンケート<後期> (教職員)

平成31年1月15日実施

	項 目	後期	H29 後期	H30 前期
(1) 人間力の育成				
1	はじめや切り替えの指導を通じて、「学習を軸に据えた部活動との両立」を果たすタフな人間性を育むことができた。	3.0	2.9	2.9
2	挨拶、掃除、容儀の「DNA3か条」を通じて、豊かな品性、南高生としての自覚と誇りを育むことができた。	3.0	2.9	3.0
3	時間や規則、提出期限の厳守、三点固定による生活リズムの確立等を通じて、自己統制能力を育てることができた。	2.9	2.9	3.0
4	清掃活動や教室・部室等の私物の整理整頓の指導を通じて、感謝の気持ちや公共心、公德心を育てることができた。	3.0	3.0	2.9
5	学校行事、生徒会活動、HR活動、部活動等を通じて、自主性や主体性を育むとともに、リーダーシップ、フォロワーシップを体得させることができた。	3.1	3.2	3.2
6	『道徳教育全体計画』に基づき、「あらゆる場面で道徳教育」との認識で教育活動を展開し、特に、生命の尊厳、個や人権の尊重について深く理解させ、自他共に思いやる心を育ませることができた。	2.9	3.0	2.9
7	桜が丘特別支援学校、佐世保特別支援学校との交流活動を通じて、人間愛と共生の心を育ませることができた。	3.2	3.1	3.2
(1) 平均		3.0	3.0	3.0
〔2〕 学びの体幹強化と進路実現				
1	独自教材等の作成・活用や授業規律の徹底など、計画的できめ細かな各学年の導入期指導を行うことができた。	3.1	3.2	3.1
2	「3つのShin(真・進・信)」を通じて、自らを鍛え伸ばす学びの姿勢を定着させることができた。	2.8	2.8	2.8
3	「朝の読書」を通じて、感性を伸ばし価値観を広げ、思考力を向上させ基礎的学習能力の拡充を図ることができた。	2.7	2.8	2.8
4	総学の時間、卒業生による進路講演会、大学OCへの参加等を通じて、進路選択能力の育成を図ることができた。	3.2	3.3	3.1
5	『生活の記録』をコミュニケーションツールとしても活用し、自己管理能力や時間活用能力を育成することができた。	2.6	2.8	2.7
6	素材研究に加え教授法研究を行うとともに、「生徒による授業評価」を活用して良質な授業を提供することができた。	2.9	3.0	2.9
7	スタディ・サポート、定期考査、対外実力・模試、センター試験、大学入試問題等の分析・検証を通じて、授業改善(授業のPDCAサイクルの確立)に取り組むことができた。	3.1	3.2	3.0
(2) 平均		2.9	3.0	2.9
(3) 保護者・地域の期待に応える学校づくり				
1	海外研修、県立大学との高大連携事業、GTEC、2学期制、幅広い科目選択、朝の読書、Sプロ、南高祭、生徒会による学校生活改善や朝の挨拶運動など、本校の特色ある教育活動をさらに進化させることができた。	3.1	3.2	3.1
2	保護者への連絡を密にし信頼関係を築くなかで、生徒が社会人として自立できるよう援助することができた。	3.1	3.2	3.2
3	育友会活動への積極支援、保護者の来校機会の増設により、保護者との連携、相互理解をいっそう深めることができた。	3.1	3.0	3.1
4	学校安全衛生委員会の機能も活用しながら、安全で安心、より豊かな教育環境を提供することができた。	3.1	3.1	2.9
5	面談活動や観察による生徒理解に努めるとともに、特別な配慮や支援が必要な生徒に対しては、スクールカウンセラーを含めて、教育相談委員会、特別支援教育委員会等の組織的な対応と支援を行うことができた。	3.3	3.5	3.2
6	Webページやメールメイト、『緑柏』『学年だより』等を通じて、積極的に情報発信と情報公開に努めることができた。	3.4	3.2	3.2
7	中学校や地域に対して積極的に広報活動を行うことで、未来の入学生の認知度と信頼感を高めることができた。	2.8	3.0	3.1
(3) 平均		3.1	3.2	3.1
総平均		3.0	3.1	3.0

※ 評価基準 ④ そう思う(4点) ③ ややそう思う(3点) ② あまりそう思わない(2点) ① そう思わない(1点)

平成30年度 学校評価アンケート集計結果（生徒）

平成30年12月21日実施

	評 価 項 目	1年	2年	3年	全体	前年
1	学校は、校訓「自彊自律」「和敬禮節」に基づいて指導している。	3.2	3.3	3.3	3.3	3.3
2	学校は、生徒の学力を伸ばす授業を行っている。	3.3	3.4	3.4	3.4	3.4
3	学校は、落ち着いた雰囲気、学びやすい環境である。	3.2	3.3	3.1	3.2	3.3
4	学校は、生徒の進路目標達成のために、適切な学習指導体制を整えている。	3.3	3.5	3.5	3.4	3.4
5	学校は、将来の進路や職業について、熱心な指導を行っている。	3.4	3.5	3.6	3.5	3.5
6	学校は、生徒の安全や健康に配慮しながら指導している。	3.3	3.5	3.4	3.4	3.3
7	学校は、マナー・服装などの生活態度について適切に指導を行っている。	3.5	3.6	3.5	3.5	3.5
8	学校は、行事等を通して、多様な経験をし、心を豊かにする教育を行っている。	3.3	3.6	3.4	3.4	3.5
9	学校は、部活動が盛んで、活気がある。	3.5	3.6	3.6	3.6	3.3
10	学校は、地域清掃などのボランティア活動に積極的に参加している。	2.9	3.2	3.1	3.1	3.1
11	学校は、人権を尊重し、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	3.2	3.5	3.4	3.4	3.3
12	学校は、必要な時に教員やカウンセラーが相談に応じる体制を整えている。	3.5	3.6	3.6	3.6	3.2
13	学校は、清掃が行き届いている。	2.8	3.1	2.9	3.0	2.7
14	学校は、施設・設備の安全に配慮した環境整備を行っている。	3.1	3.4	3.3	3.2	3.2
総平均		3.3	3.4	3.4	3.4	3.3

※ 評価基準 ①あてはまる(4点) ②だいたいあてはまる(3点) ③どちらかというとあてはまらない(2点) ④あてはまらない(1点)

回収件数	229	207	209	645
在籍者数	231	227	212	670
回収率(%)	99.1%	91.2%	98.6%	96.3%

平成30年度 学校評価アンケート集計結果（保護者）

平成30年12月21日実施

	評価項目	1年	2年	3年	全体	前年
1	学校は、校訓「自彊自律」「和敬禮節」に基づいて指導している。	3.2	3.2	3.3	3.2	3.2
2	学校は、生徒の学力を伸ばす授業を行っている。	3.0	3.0	3.2	3.1	3.1
3	学校は、落ち着いた雰囲気、学びやすい環境である。	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2
4	学校は、生徒の進路目標達成のために、適切な学習指導体制を整えている。	3.1	3.1	3.2	3.1	3.2
5	学校は、将来の進路や職業について、適切な指導を行っている。	3.1	3.0	3.2	3.1	3.1
6	学校は、生徒の安全や健康に配慮しながら指導している。	3.3	3.2	3.3	3.3	3.2
7	学校は、生徒の人権を尊重しながら指導にあたっている。	3.1	3.1	3.2	3.1	3.1
8	学校は、マナー・服装などの生活態度について適切に指導を行っている。	3.4	3.3	3.4	3.3	3.3
9	学校は、行事等を通して、多様な経験をし、心を豊かにする教育を行っている。	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3
10	学校は、部活動が盛んで、活気がある。	3.3	3.3	3.4	3.3	3.4
11	学校は、地域清掃などのボランティア活動に積極的に参加している。	3.1	3.0	3.1	3.1	3.0
12	学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	3.2	3.1	3.2	3.2	3.2
13	学校は、必要な時に教員やカウンセラーが相談に応じる体制を整えている。	3.2	3.1	3.2	3.2	3.1
14	学校は、清掃が行き届いている。	3.2	3.2	3.3	3.2	3.2
15	学校は、施設・設備の安全に配慮した環境整備を行っている。	3.3	3.2	3.3	3.2	3.2
16	学校は、学校行事や教育活動について保護者や地域に情報提供を行っている。	3.1	3.2	3.2	3.2	3.2
17	学校は、育友会活動に協力的であり、連携がよくなされている。	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2
総平均		3.2	3.2	3.3	3.2	3.2

※ 評価基準 ①あてはまる(4点) ②だいたいあてはまる(3点) ③どちらかというとあてはまらない(2点) ④あてはまらない(1点)

回収件数	228	221	209	658
在籍者数	235	227	212	674
回収率(%)	97.0%	97.4%	98.6%	97.6%